



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日
東

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所
コード番号 7187 URL https://www.j-lease.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 土
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長 (氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245

配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,920	26.7	2,261	26.2	2,249	25.8	1,494	24.1
2024年3月期第3四半期	9,409	18.9	1,791	△0.1	1,789	△0.1	1,204	△2.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,494百万円(24.1%) 2024年3月期第3四半期 1,204百万円(△2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	83.96	83.25
2024年3月期第3四半期	67.77	67.16

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	14,560	5,321	36.5
2024年3月期	11,586	4,627	39.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,321百万円 2024年3月期 4,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	22.50	—
2025年3月期	—	22.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,210	22.6	2,810	7.8	2,810	7.6	1,890	5.6	105.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社エイビス、除外 1社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	18,032,000株	2024年3月期	17,878,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	100,224株	2024年3月期	100,192株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	17,800,775株	2024年3月期3Q	17,773,452株

- (注) 1. 期末自己株式及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株
 式を含めております。
2. 2024年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に
 当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると
 判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業
 績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあた
 ったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想など
 の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されるものの、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れによる国内景気の下押しリスクや、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が残る状況となりました。

賃貸不動産業界におきましては、入居需要は底堅く、加えてオフィスやテナント等、事業用物件に対する賃料保証の利用が増加傾向にあります。

このような環境の下、当社グループは、地域密着を基本とした顧客（不動産会社、賃貸人、賃借人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、与信審査及び債権管理の強化によるリスクコントロールを継続するとともに、人的資本経営に取り組んでまいりました。

また、当社は2024年4月に、ソフトウェア開発等を行う株式会社エイビスを100%子会社化し、2024年5月より連結の範囲に含めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,920,474千円（前年同期比26.7%増）、営業利益は2,261,700千円（前年同期比26.2%増）、経常利益は2,249,753千円（前年同期比25.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,494,467千円（前年同期比24.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

（保証関連事業）

売上面では、住居用賃料保証が計画を大きく上回りました。首都圏への人的戦力投入や人材育成、外部企業や業界団体とのアライアンスなどの各種戦略が奏功し、新規取引が拡大しました。また、当社の強みである地域密着サービスの展開を図り、2024年7月に富山支店、滋賀支店、10月に山梨支店、奈良支店を開設しました。事業用賃料保証は、アフターコロナの頻繁な入退去が一巡し、競合他社が増加したものの、売上は堅調に推移しました。

経費面では、貸倒関連費用等の増加や競争激化による不動産会社向け事務手数料が増加する中、与信審査及び債権管理等による適切なリスクコントロールを継続いたしました。

医療費保証業務においては、引き続き販路拡大と営業強化に取り組み、多岐にわたる新規開拓ルートにより公立病院や赤十字病院などの新規取引が拡大し、計画を上回って推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は10,983,100千円（前年同期比19.7%増）、営業利益は2,366,102千円（前年同期比32.3%増）となりました。

（不動産関連事業）

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対するサービスを中心に展開しており、円安の影響等により日本の不動産に対する外国人ニーズが高まり、売買仲介案件等が増加しました。一方で、前年同期は販売用不動産売上が大きく拡大したことから、その反動により減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は181,552千円（前年同期比23.9%減）、営業損失は34,490千円（前年同期は営業利益3,609千円）となりました。

（IT関連事業）

ソフトウェア開発等を行う株式会社エイビスにおいては、環境検査システムの開発販売をはじめとするITサービスを展開しており、ソフトウェア販売等が好調に推移したことから、売上高、営業利益ともに計画を上回って推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のIT関連事業の売上高は853,901千円、営業損失54,467千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比2,974,358千円増加し14,560,780千円となりました。これは主に、子会社取得に伴うのれんの増加752,377千円、現金及び預金の増加727,082千円、仕掛品の増加560,534千円、収納代行立替金の増加476,081千円、繰延税金資産の増加132,598千円、売掛金の増加121,333千円、未収保証料の減少374,329千円、貸倒引当金の増加266,673千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2,279,592千円増加し9,238,955千円となりました。これは主に、長期借入金の増加1,139,912千円、買掛金の増加713,089千円、長期未払金の増加176,800千円、未払金の増加147,356千円、1年内返済予定の長期借入金の増加129,994千円、前受金の増加109,147千円、未払法人税等の減少190,162千円、短期借入金の減少136,600千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比694,765千円増加し5,321,824千円となりました。これは主に利益剰余金の増加689,921千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比3.4ポイント減少し36.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日付「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,438,424	2,165,507
未収保証料	1,719,935	1,345,605
未収手数料	79,093	86,785
未収入金	259,946	342,688
代位弁済立替金	6,283,984	6,217,263
収納代行立替金	1,270,587	1,746,669
売掛金	63,913	185,246
販売用不動産	-	69,501
仕掛品	-	560,534
貯蔵品	15,073	21,841
その他	249,912	296,276
貸倒引当金	△2,007,200	△2,278,100
流動資産合計	9,373,670	10,759,819
固定資産		
有形固定資産	269,737	494,240
無形固定資産		
のれん	-	752,377
その他	244,502	395,999
無形固定資産合計	244,502	1,148,377
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,339,413	1,472,011
その他	705,379	1,028,386
貸倒引当金	△346,281	△342,055
投資その他の資産合計	1,698,511	2,158,343
固定資産合計	2,212,750	3,800,961
資産合計	11,586,421	14,560,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	713,089
短期借入金	1,240,000	1,103,400
1年内返済予定の長期借入金	-	129,994
リース債務	20,865	5,145
収納代行未払金	889,270	912,363
未払金	826,853	974,209
未払法人税等	557,388	367,226
前受金	2,756,230	2,865,377
賞与引当金	191,944	128,560
その他	335,400	488,847
流動負債合計	6,817,953	7,688,213
固定負債		
長期借入金	-	1,139,912
リース債務	6,184	10,569
役員退職慰労引当金	6,432	8,135
役員株式給付引当金	50,118	87,335
退職給付に係る負債	-	43,154
長期末払金	-	176,800
資産除去債務	78,194	84,505
その他	480	330
固定負債合計	141,409	1,550,741
負債合計	6,959,362	9,238,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,708	720,166
資本剰余金	292,708	295,166
利益剰余金	3,749,189	4,439,110
自己株式	△132,362	△132,410
株主資本合計	4,627,242	5,322,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△184	△207
その他の包括利益累計額合計	△184	△207
純資産合計	4,627,058	5,321,824
負債純資産合計	11,586,421	14,560,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,409,831	11,920,474
売上原価	2,378,457	3,392,988
売上総利益	7,031,374	8,527,486
販売費及び一般管理費	5,239,413	6,265,785
営業利益	1,791,960	2,261,700
営業外収益		
受取利息	12	283
受取配当金	10	296
受取保険金	5,056	4,815
補助金収入	510	4,197
その他	6,448	17,324
営業外収益合計	12,038	26,917
営業外費用		
支払利息	11,956	17,766
匿名組合投資損失	-	13,662
その他	3,013	7,435
営業外費用合計	14,970	38,864
経常利益	1,789,029	2,249,753
特別利益		
固定資産売却益	-	3,664
特別利益合計	-	3,664
特別損失		
減損損失	-	23,807
投資有価証券評価損	44,630	13,513
その他	0	0
特別損失合計	44,630	37,320
税金等調整前四半期純利益	1,744,398	2,216,097
法人税、住民税及び事業税	503,845	783,896
法人税等調整額	36,131	△62,266
法人税等合計	539,976	721,630
四半期純利益	1,204,421	1,494,467
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,204,421	1,494,467

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,204,421	1,494,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	△23
その他の包括利益合計	△72	△23
四半期包括利益	1,204,349	1,494,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,204,349	1,494,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	IT関連事業	計		
売上高						
外部顧客との契約 から生じる収益	1,306,814	177,970	—	1,484,785	—	1,484,785
その他の収益	7,869,860	55,184	—	7,925,045	—	7,925,045
外部顧客への売上 高	9,176,675	233,155	—	9,409,831	—	9,409,831
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	—	5,468	—	5,468	△5,468	—
計	9,176,675	238,624	—	9,415,299	△5,468	9,409,831
セグメント利益	1,788,351	3,609	—	1,791,960	—	1,791,960

(注) 1. 売上高の調整額△5,468千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	IT関連事業	計		
売上高						
外部顧客との契約 から生じる収益	1,550,962	111,939	760,981	2,423,883	—	2,423,883
その他の収益	9,432,138	64,453	—	9,496,591	—	9,496,591
外部顧客への売上 高	10,983,100	176,392	760,981	11,920,474	—	11,920,474
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	—	5,159	92,919	98,079	△98,079	—
計	10,983,100	181,552	853,901	12,018,554	△98,079	11,920,474
セグメント利益又は 損失(△)	2,366,102	△34,490	△54,467	2,277,144	△15,443	2,261,700

(注) 1. 売上高の調整額△98,079千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「保証関連事業」セグメントにおいて、有形固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において23,807千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

2024年4月30日に株式会社エイビスの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間においてのれんが806,118千円増加しております。なお、当該のれんは、当第3四半期連結累計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社エイビスを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「IT関連事業」を追加しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	140,029千円	120,795千円
のれんの償却額	一千円	53,741千円